

平成22年4月期 第1四半期決算短信

平成21年9月4日

上場会社名 日東製網株式会社

上場取引所 東 大 名

コード番号 3524 URL <http://www.nittoseimo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 宏明

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 北方 浩樹

TEL 084-953-1234

四半期報告書提出予定日 平成21年9月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年4月期第1四半期の連結業績(平成21年5月1日～平成21年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年4月期第1四半期	3,243	△0.5	△15	—	1	△43.5	1	—
21年4月期第1四半期	3,259	—	53	—	3	—	△35	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年4月期第1四半期	0.06	—
21年4月期第1四半期	△1.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年4月期第1四半期	16,166	2,587	15.6	97.15
21年4月期	14,529	2,532	17.0	94.85

(参考) 自己資本 22年4月期第1四半期 2,526百万円 21年4月期 2,466百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年4月期	—	—	—	1.00	1.00
22年4月期	—	—	—	—	—
22年4月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年4月期の連結業績予想(平成21年5月1日～平成22年4月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	7,500	3.7	250	4.6	150	38.3	75	△15.0	2.88
連結累計期間	14,800	5.5	500	68.5	300	731.8	150	103.5	5.77

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年4月期第1四半期 26,050,000株 21年4月期 26,050,000株

② 期末自己株式数 22年4月期第1四半期 46,325株 21年4月期 46,057株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年4月期第1四半期 26,003,743株 21年4月期第1四半期 26,012,846株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の4ページを参照して下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年度後半からの深刻な景気後退局面から、在庫調整の進展や各国政府の経済対策の効果等により、一部に回復の兆しがみられ、経済の指標となる各種統計数値もマイナス幅の縮小傾向にはありますが、依然先行き不透明な状況は継続しております。

当グループ主力の水産業界におきましても、昨年秋以降の消費者の生活防衛意識の高まりによる低価格志向を反映し魚価は低迷しており、一時急落した燃油価格等も上昇傾向にあるなど、業界を取り巻く環境は、非常に厳しい状況となっております。

このような状況のもと、当グループは生産部門と販売部門の連携を強化することで生産の平準化を図り、コストの低減を目指すとともに、販売強化策として海洋サポート室を新設し、低迷している漁場の再活性化を図るため、漁獲量増加のための支援、提案型販売を強化しました。

そのような取り組みにより、売上高は前年同期とほぼ水準を維持しましたが、昨年来の原材料価格高騰による製造コストの上昇に加え、定置網の売上高の減少により製品の粗利益率が低下しました。営業外損益では、為替の評価損益が改善し、特別損益では前年同期と比べ特別退職金の支払いが大幅に減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,243百万円（前年同期比0.5%減）、営業損失は15百万円（前年同期は53百万円の利益）、経常利益は1百万円（前年同期比43.5%減）、四半期純利益は1百万円（前年同期は35百万円の損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

〔漁業関連事業〕

売上高は2,722百万円（前年同期比0.9%増）と前年同期と比べ微増となりました。売上高の内容としては、定置網の売上高が前年同期と比べ減少し、旋網・養殖用網の売上高が増加しました。利益面では、定置網の売上高が減少したこと、原材料費が上昇したことにより営業損失は18百万円（前年同期は44百万円の利益）となりました。

〔陸上関連事業〕

売上高は495百万円（同5.8%減）となりました。主な要因は陸上用ネットの売上高がやや減少したことによるものです。利益面では、貸倒引当金繰入額の減少等により一般管理費が減少したことで、営業利益は5百万円（同71.7%増）となりました。

〔その他の事業〕

売上高は25百万円（同26.8%減）となりました。前年同期に比べ更に液晶関連の搬送装置の売上高が減少し、営業損失は2百万円（前年同期は6百万円の利益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ1,633百万円増加し、12,014百万円となりました。これは、主として現金及び預金、売上債権、たな卸資産が増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ5百万円増加し、4,139百万円となりました。これは、減価償却により有形固定資産は減少しましたが、上場株式の時価評価が回復したことにより投資有価証券が増加したことによるものです。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ1,590百万円増加し、10,371百万円となりました。これは、主として短期借入金及び仕入債務の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度と比べ8百万円の減少となり、3,206百万円となりました。これは、退職給付引当金は増加しましたが、長期借入金を返済したことによる減少であります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度に比べ55百万円増加し、2,587百万円となりました。これは、投資有価証券の時価評価が回復したことによりその他有価証券評価差額金が増加したこと及び為替相場の変動により為替換算調整勘定が増加したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間の営業活動による資金の減少は451百万円となりました。これは、増加要因として仕入債務の増加、減価償却費の計上がありました。減少要因としてたな卸資産（主に仕掛品）の増加及び売上債権の増加があったこと等によるものです。

投資活動による資金の減少は356百万円となりました。これは、主として定期預金の預入による支出、有形固定資産の取得による支出等があったことによるものです。

財務活動による資金の増加は1,186百万円となりました。これは主に短期借入れによる収入によるものです。

これらにより当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末残高と比べ389百万円増加し、645百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成21年6月12日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

今後、業績修正が必要となった場合は速やかに公表いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,554,456	854,116
受取手形及び売掛金	6,772,564	6,319,265
商品及び製品	2,542,665	2,300,059
仕掛品	910,310	717,313
原材料及び貯蔵品	423,848	426,162
その他	330,650	272,093
貸倒引当金	△519,673	△507,810
流動資産合計	12,014,823	10,381,200
固定資産		
有形固定資産	2,730,108	2,758,468
無形固定資産	14,564	7,379
投資その他の資産		
破産更生債権等	1,522,152	1,527,622
その他	694,849	660,547
貸倒引当金	△822,239	△819,748
投資その他の資産合計	1,394,762	1,368,421
固定資産合計	4,139,436	4,134,269
繰延資産	11,982	13,779
資産合計	16,166,241	14,529,249
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,918,912	2,627,052
短期借入金	6,845,779	5,587,065
賞与引当金	89,297	92,960
その他	517,985	474,613
流動負債合計	10,371,974	8,781,692
固定負債		
社債	1,200,000	1,200,000
長期借入金	1,352,358	1,395,395
退職給付引当金	350,201	320,318
役員退職慰労引当金	47,554	41,336
繰延税金負債	157,798	157,797
その他	98,732	100,638
固定負債合計	3,206,644	3,215,485
負債合計	13,578,618	11,997,178

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,378,825	1,378,825
資本剰余金	510,292	510,292
利益剰余金	860,363	884,703
自己株式	△7,235	△7,207
株主資本合計	2,742,245	2,766,613
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△13,200	△34,069
為替換算調整勘定	△202,668	△266,022
評価・換算差額等合計	△215,869	△300,091
少数株主持分	61,246	65,549
純資産合計	2,587,622	2,532,071
負債純資産合計	16,166,241	14,529,249

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)
売上高	3,259,091	3,243,637
売上原価	2,661,077	2,720,456
売上総利益	598,014	523,181
販売費及び一般管理費		
運搬費	44,485	41,847
役員報酬	31,018	32,022
従業員給料及び手当	190,925	186,745
賞与引当金繰入額	7,599	12,635
退職給付費用	13,870	21,739
役員退職慰労引当金繰入額	5,905	6,218
旅費及び交通費	41,869	38,972
減価償却費	6,812	8,164
その他	202,137	189,958
販売費及び一般管理費合計	544,623	538,304
営業利益又は営業損失(△)	53,390	△15,123
営業外収益		
受取利息	13,922	16,403
固定資産賃貸料	5,764	5,626
為替差益	5,474	61,772
その他	13,347	11,186
営業外収益合計	38,509	94,989
営業外費用		
支払利息	57,975	52,611
手形売却損	20,696	17,937
その他	9,716	7,333
営業外費用合計	88,388	77,882
経常利益	3,511	1,983
特別利益		
投資有価証券売却益	7,543	—
貸倒引当金戻入額	5,118	527
特別利益合計	12,662	527
特別損失		
固定資産除却損	2,575	39
特別退職金	44,888	2,282
特別損失合計	47,463	2,321
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△31,289	189
法人税、住民税及び事業税	9,134	4,479
法人税等調整額	△6,960	△1,651
法人税等合計	2,174	2,828
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,816	△4,303
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35,280	1,663

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△31,289	189
減価償却費	100,556	97,407
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,118	△527
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△57,015	24,711
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,905	6,218
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,725	△3,663
受取利息及び受取配当金	△17,369	△19,536
支払利息	57,975	52,611
手形売却損	20,696	17,937
投資有価証券売却損益(△は益)	△7,543	—
為替差損益(△は益)	△5,474	466
固定資産除却損	2,575	39
売上債権の増減額(△は増加)	△64,524	△373,452
たな卸資産の増減額(△は増加)	△495,843	△385,506
仕入債務の増減額(△は減少)	175,962	191,275
未払消費税等の増減額(△は減少)	△27,974	△9,619
その他	27,150	18,335
小計	△328,059	△383,113
利息及び配当金の受取額	14,473	13,360
利息の支払額	△72,704	△64,218
法人税等の支払額	△75,038	△17,604
営業活動によるキャッシュ・フロー	△461,328	△451,575
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△129,621	△48,073
投資有価証券の売却による収入	14,089	—
貸付けによる支出	△5,779	△26,000
貸付金の回収による収入	35,104	21,949
定期預金の預入による支出	△250,000	△291,603
その他	△12,231	△12,560
投資活動によるキャッシュ・フロー	△348,438	△356,286
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,752,238	2,141,227
短期借入金の返済による支出	△331,096	△898,527
長期借入れによる収入	50,000	135,000
長期借入金の返済による支出	△185,438	△162,023
自己株式の取得による支出	△467	△27
その他	△28,365	△29,298
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,256,871	1,186,350
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,609	11,246
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	451,714	389,735
現金及び現金同等物の期首残高	303,862	256,079
現金及び現金同等物の四半期末残高	755,576	645,814

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日)

	漁業関連事業 (千円)	陸上関連事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	2,697,903	525,997	35,190	3,259,091	—	3,259,091
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,697,903	525,997	35,190	3,259,091	—	3,259,091
営業利益	44,077	3,309	6,003	53,390	—	53,390

(注) 1 事業区分は製品及び仕入商品の販売市場により区分しております。

2 各事業区分の主要な製品・仕入商品及び事業内容

漁業関連事業	製品	無結節・有結節漁網・緞網・繊維ロープ
	仕入商品	漁船・漁網付属品・漁労関係省力機械器具・飼料・餌料・小魚加工機・製氷機・養殖用稚魚・水産物
	その他	定置網漁業等の漁場指導を含めた経営指導
陸上関連事業	製品	無結節・有結節網・防虫ネット・産業用ハウスバンド・ロープ
	仕入商品	農業用資材・培土・防虫網用アルミ型枠
	その他	上記陸上用網に係る設計・施工・販売
その他の事業	製品	産業用機械・搬送設備
	その他	上記に係る設計、補修、販売

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)

	漁業関連事業 (千円)	陸上関連事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	2,722,303	495,572	25,761	3,243,637	—	3,243,637
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,722,303	495,572	25,761	3,243,637	—	3,243,637
営業利益又は営業損失(△)	△18,644	5,683	△2,161	△15,123	—	△15,123

- (注) 1 事業区分は製品及び仕入商品の販売市場により区分しております。
2 各事業区分の主要な製品・仕入商品及び事業内容

漁業関連事業	製品	無結節・有結節漁網・緞網・繊維ロープ
	仕入商品	漁船・漁網付属品・漁労関係省力機械器具・飼料・餌料・小魚加工機・製氷機・養殖用稚魚・水産物
	その他	定置網漁業等の漁場指導を含めた経営指導
陸上関連事業	製品	無結節・有結節網・防虫ネット・産業用ハウスバンド・ロープ
	仕入商品	農業用資材・培土・防虫網用アルミ型枠
	その他	上記陸上用網に係る設計・施工・販売
その他の事業	製品	産業用機械・搬送設備
	その他	上記に係る設計、補修、販売

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)

日本の売上高が、全セグメントの売上高の合計額の90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日)

	南米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	262,847	94,456	14,944	372,247
II 連結売上高(千円)	—	—	—	3,259,091
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	8.0	2.9	0.5	11.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各地域に属する主な国又は地域

(1) 南米・・・・・・チリ、ペルー他

(2) アジア・・・・・・台湾、韓国他

(3) その他の地域・・・・ニュージーランド他

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。